【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】令和6年6月4日(2024.6.4)

【国際公開番号】WO2024/005071
【出願番号】特願2024-505109(P2024-505109)
【国際特許分類】
C09J163/00(2006.01)
C09J 11/04(2006.01)
C09J 11/06(2006.01)
C09J171/12(2006.01)
C09J 7/30(2018.01)
C09J 5/00(2006.01)
【ＦＩ】
C09J163/00
C09J 11/04
C09J 11/06
C09J171/12
C09J 7/30
C09J 5/00

【手続補正書】
【提出日】令和6年1月26日(2024.1.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
水添ビスフェノール構造を有するエポキシ樹脂と、ガラス転移温度が８０～１２０℃であるフェノキシ樹脂と、アニオン部位にアンチモンを含む光カチオン重合開始剤とを含有する、エネルギー線硬化型フィルム状透明接着剤。
【請求項２】
前記エネルギー線硬化型フィルム状透明接着剤の硬化物のガラス転移温度が８０℃以上である、請求項１に記載のエネルギー線硬化型フィルム状透明接着剤。
【請求項３】
前記エネルギー線硬化型フィルム状透明接着剤の硬化物の平行光線透過率が８０％以上である、請求項２に記載のエネルギー線硬化型フィルム状透明接着剤。
【請求項４】
前記エネルギー線硬化型フィルム状透明接着剤の硬化物の常温における貯蔵弾性率が１．０ＧＰａ以上である、請求項３に記載のエネルギー線硬化型フィルム状透明接着剤。
【請求項５】
シランカップリング剤を含む、請求項１に記載のエネルギー線硬化型フィルム状透明接着剤。
【請求項６】
硬化遅延剤を含む、請求項１に記載のエネルギー線硬化型フィルム状透明接着剤。
【請求項７】
充填材を含む、請求項１に記載のエネルギー線硬化型フィルム状透明接着剤。
【請求項８】

請求項１～７のいずれか１項に記載のエネルギー線硬化型フィルム状透明接着剤を用いて構成部材が接着された構造を含むデバイス。
【請求項９】
請求項１～７のいずれか１項に記載のエネルギー線硬化型フィルム状透明接着剤を用いて構成部材を接着することを含む、デバイスの製造方法。
【請求項１０】
前記接着が、デバイスを構成する１つの構成部材の表面に、前記フィルム状接着剤を配し、当該フィルム状接着剤を挟んでデバイスを構成する別の構成部材を配し、当該フィルム状接着剤を硬化反応させる工程によりなされ、前記硬化反応が１００～１５００ｍＪ／ｃｍ^{2}の紫外線を照射することによりなされる、請求項９に記載のデバイスの製造方法。